

経営報告会

2017年6月28日

山一電機株式会社

ご説明内容



昨年11月1日に創立60周年を迎えました。

これもひとえに

皆様のご支援とご指導の賜物と深く感謝申し上げます。

【1】 会社概要の説明

【2】 FY2016業績結果とFY2017業績予想

【3】 中期経営計画結果

【4】 新中期経営計画

会社紹介

もっとしなやかに
ベターコネクション



山一電機グループは
人・企業・社会・地球との
より良い結びつきを柔軟な技術力と
発想力をもって意欲的に創造する
「もっとしなやかにベターコネクション」を
コーポレートスローガンに
お客様の価値創出に貢献します。

設 立	1956年11月 1日
本 社	東京都大田区南蒲田 2-16-2 テクノポート三井生命ビル
代 表 者	代表取締役社長 太田 佳孝
資 本 金	10,047百万円 (株式 23,289 千株)
市 場	東証1部 (証券コード 6941) 1988年12月店頭公開 2000年3月東証2部、2001年3月 東証1部
従 業 員 数	連 結 : 1,445名 (外、臨時雇用 973名) 単 体 : 347名 (外、臨時雇用12名)
事 業 内 容	電子応用機器用部品の製造および販売 半導体製造機器の製造および販売 (バーンインソケット世界シェア 40%) 光学機器ならびに光学部品の製造および販売
グ ル ー プ	国内子会社2社、海外子会社13社 (清算手続き中の1社を除く)

グローバルネットワーク

★ 販売拠点 : 11 拠点

★ 製造拠点 : 8 拠点

★ 開発拠点 : 7 拠点



3つの事業

テストソリューション事業

ICソケットは、半導体検査工程で使われるICと検査機器とをつなぐ治具



【主要製品】

- バーンイン用ICソケット
- テスト用ICソケット
- プローブピン
- プローブカード
- 半導体テストサービス

コネクタソリューション事業

コネクタは、エレクトロニクス機器間や部品間の電気や信号をつなぐ治具



【主要製品】

- メモリーカードコネクタ
- 高速伝送用コネクタ
- 実装用ICソケット
- YFLEX™ (フレキシブルプリント配線板)

光関連事業

光学フィルタは、特定の波長範囲の光だけを透過/反射させる光学素子



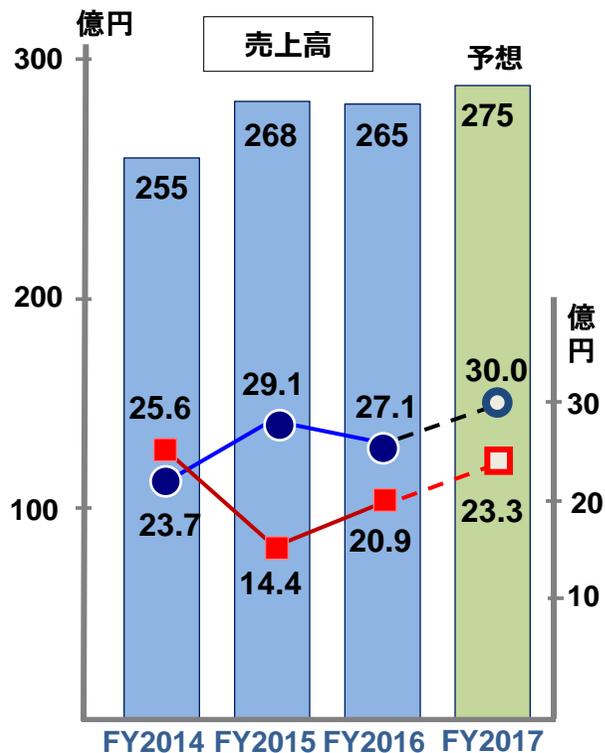
【主要製品】

- 光学薄膜フィルタ
- 半導体レーザー光源
- 光通信モジュール

ご説明内容

- 【1】 会社概要説明
- 【2】 **FY2016業績結果とFY2017業績予想**
- 【3】 中期経営計画結果
- 【4】 新中期経営計画

FY2016業績結果とFY2017業績予想

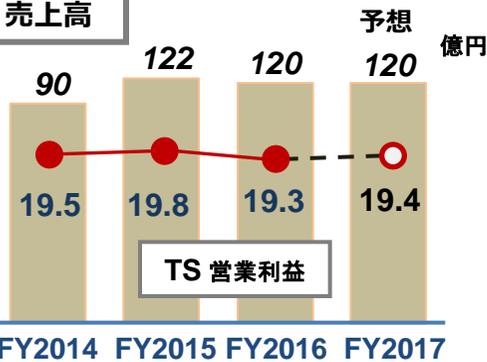


単位：億円	FY2015	FY2016		FY2017 (予想)
	実績	実績	前期比	
売上高	268	265	▲3	275
営業利益	29.1	27.1	▲2.0	30.0
経常利益	26.0	25.6	▲0.4	29.5
当期純利益	14.4	20.9	6.5	23.3
EPS (円)	61.95	95.54	33.59	107.75
BPS (円)	762.10	848.06	85.96	—
ROE (%)	8.5	11.8	3.3	—
配当金 (円)	15.0	20.0	5.0	20.0
配当性向 (%)	24.2	20.9	▲3.3	18.6

為替レート	FY2015	FY2016	FY2017 (想定)
USDレート (円)	120.14	108.36	110.00
EURレート (円)	132.57	118.78	120.00

FY2016事業別業績結果とFY2017事業別業績予想

TS 売上高

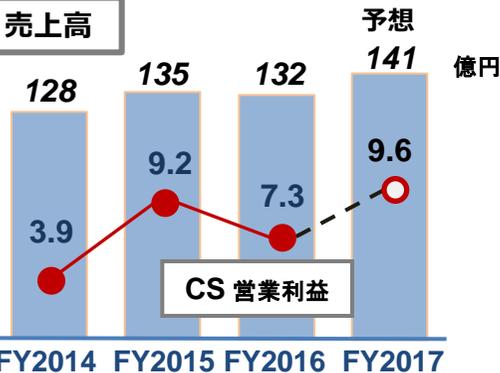


- ・スマートフォンの高機能化
- ・自動車の電子化の進展
- ・通信インフラ投資の進展
- ・高性能サーバーの需要拡大

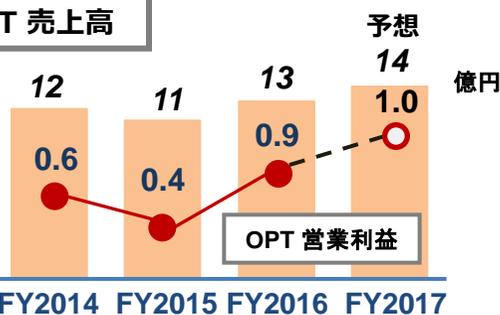
★半導体の開発、設備投資の活発化 → 検査需要の増大

★高速・高機能・高性能の電子部品の需要拡大

CS 売上高



OPT 売上高

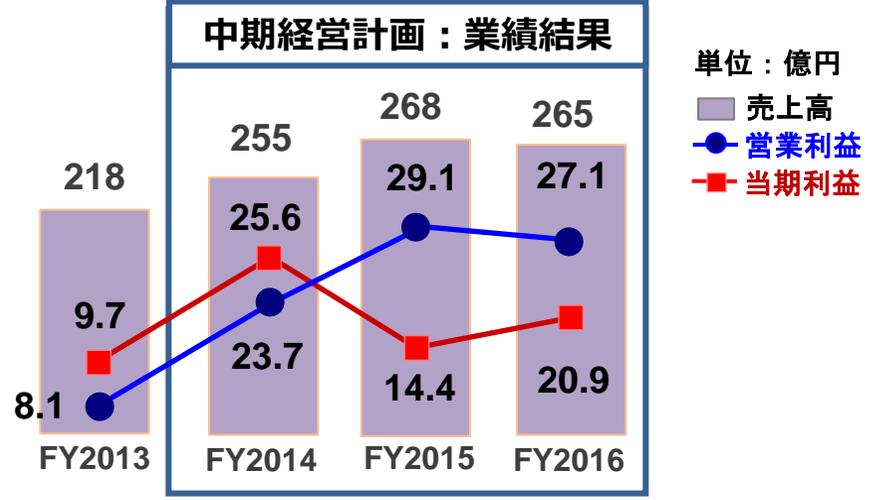
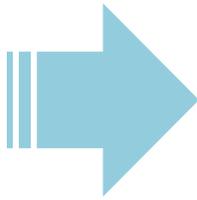
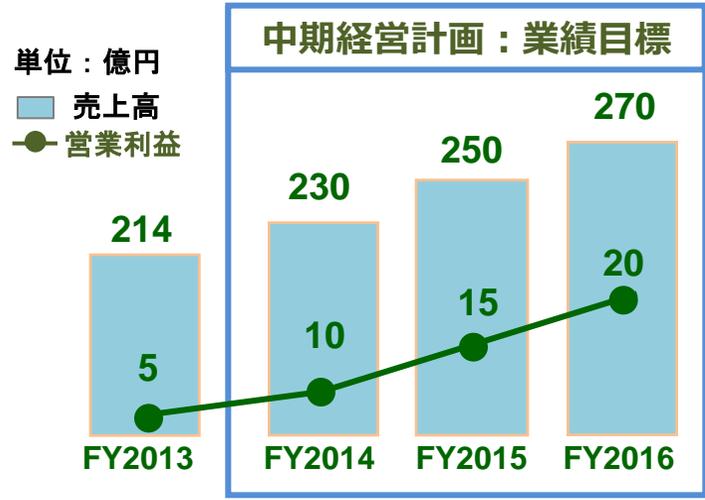


単位：億円		FY2015	FY2016		FY2017 (予想)
		実績	実績	前期比	
TS事業	売上高	122	120	▲2	120
	営業利益	19.8	19.3	▲0.5	19.4
CS事業	売上高	135	132	▲3.0	141
	営業利益	9.2	7.3	▲1.9	9.6
OPT事業	売上高	11	13	2.0	14
	営業利益	0.4	0.9	0.5	1.0
その他	営業利益	-0.2	-0.3	▲0.1	

ご説明内容

- 【1】 会社概要説明
- 【2】 FY2016業績結果FY2017業績予想
- 【3】 中期経営計画結果**
- 【4】 新中期経営計画

3カ年累計で80億円の営業利益（目標値45億円以上）



TS事業はテストソケットの拡販、CS事業はプロダクトミックスの改善

単位：億円

	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2013比
TS事業売上高	72	90	115	120	+48 (67%UP)

単位：億円

	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2013比
CS事業売上高	114	128	135	132	+18 (16%UP)

海外売上比率 78%：北米・欧州が増加し、アジア・日本が減少

	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2013比
海外売上比率	70%	82%	82%	77%	+7 ポイント

2013年度から事業構造改革を立案実行

■ 山一電機グループが目指す方向

『 お客様が満足する製品・サービスを提供できる会社になる 』

■ 基本方針

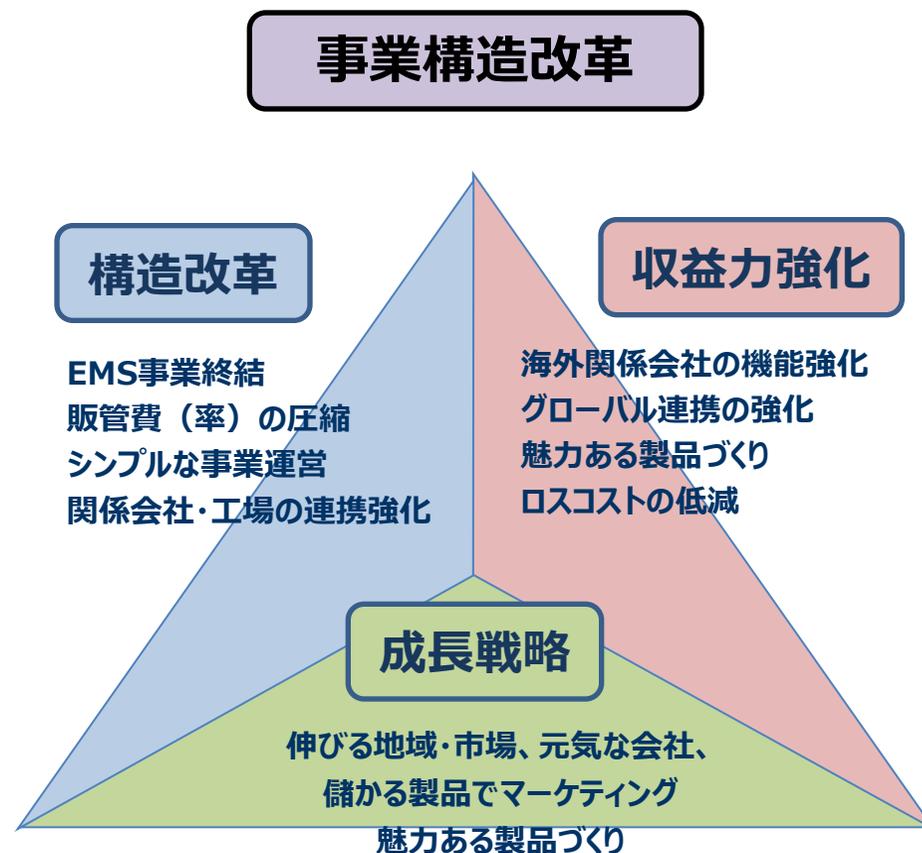
1. グループ全社で事業構造改革を完遂

「構造改革」「収益力強化」「成長戦略」

2. 利益重視による“成長戦略”を実行

3. グループ会社連携強化により

連結利益の最大化



2013年度ならびに中計期間中に実行した主な施策

FY2013の事業構造改革の実績

EMS事業の終結	フィリピンでのEMS事業・工場を売却 マティの清算終了
固定費の圧縮	グループ人員適正化（975名減） 本社移転（大田区南蒲田）
海外機能アップ	フィリピンで工場を新たに取得（2013年7月と2014年12月）

FY2014の事業構造改革の実績

海外機能アップ	台湾（新竹）に支店を新設
固定費の圧縮	中国工場の人員削減（169名減）

FY2015の事業構造改革の実績

コーポレートガバナンス強化	社外取締役2名選任
---------------	-----------

FY2016の事業構造改革の実績

海外機能アップ	中国工場の清算処理開始
---------	-------------

4期連続プラスで着実に前進

限界利益率：13年度比 0.6^ポ ｲﾄ改善
 安全余裕率：13年度比 12.9^ポ ｲﾄ改善

現預金57億円 > 有利子負債44億円
 固定費比率：13年度比 6^ポ ｲﾄ改善
 販管費比率：13年度比 4^ポ ｲﾄ改善

単位：億円	FY2013	FY2016	増減
売上高	218	265	47
営業利益	8.1	27.1	19.0
経常利益	12.9	25.6	12.7
当期純利益	9.7	20.9	11.2
限界利益率(%)	49.9	50.5	0.6
安全余裕率(%)	7.4	20.3	12.9
損益分岐点	201.6	211.3	5.5
EPS (円)	41.6	95.5	53.9
ROE (%)	7.5	11.8	4.3
配当 (円)	5.0	20.0	15

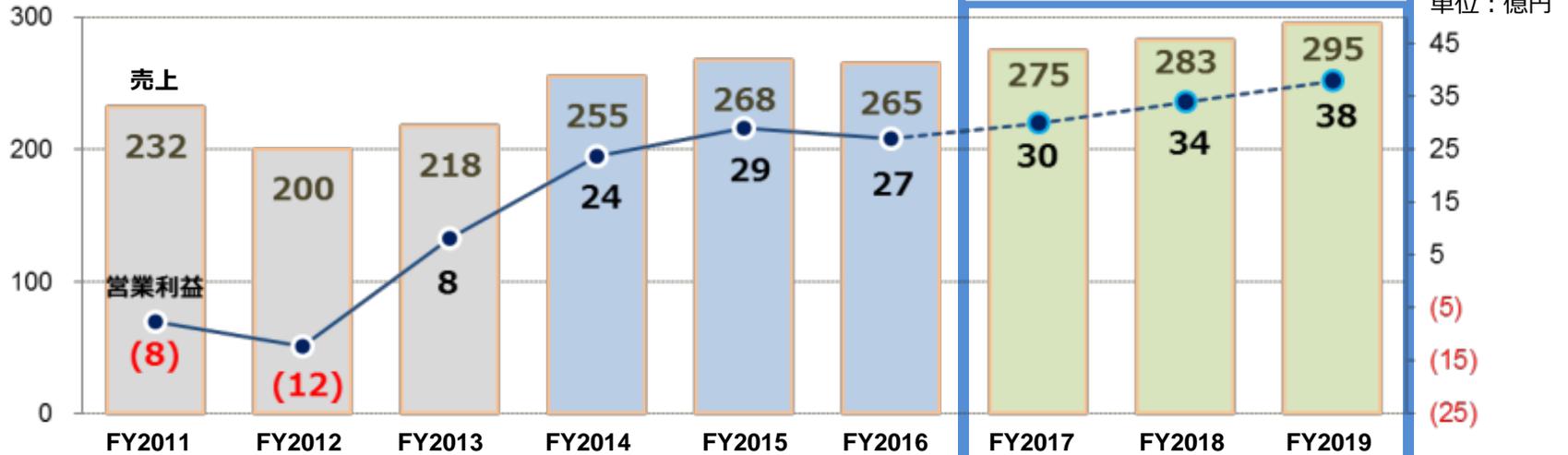
単位：億円	FY2013	FY2016	増減
総資産	235.8	278.9	43.1
現預金	48.7	57.3	8.6
有利子負債	55.2	44.0	▲11.2
純資産	134.8	184.8	50.0
BPS (円)	578.27	848.06	269.79
自己資本比率(%)	57.1	65.7	8.6
固定費	100.6	106.7	6.1
固定費比率 (%)	46.2	40.3	▲5.9
販管費	55.5	55.9	0.4
販管費比率 (%)	25.5	21.1	▲4.4

ご説明内容

- 【1】 会社概要説明
- 【2】 FY2016業績結果とFY2017業績予想
- 【3】 中期経営計画結果
- 【4】 **新中期経営計画**

業績推移と業績目標

単位：億円



2017~2019年度 経営目標

お客様と共に
グローバルに連携し
未来につながる製品の創造

山一電機が目指す方向

お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社に成長

売上高	853億円以上/3カ年
営業利益額	102億円以上/3カ年
ROE	10%以上/年
配当金額	連結配当性向30%を目指す
設備投資	70億円/3カ年

基本戦略

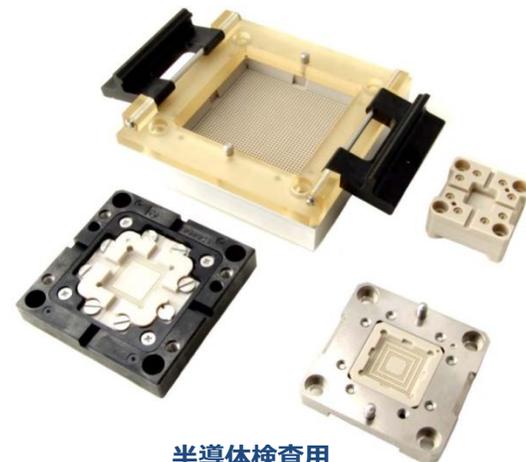
成長戦略：グローバルニッチTOP製品の創出

グローバル連携の強化

1. 『ユニークな製品、差別化した製品の開発』
2. 『伸びる市場/地域・元気な顧客・儲かる製品』

構造改革：グループの効率化を更に追求

1. グローバル管理体制強化
2. グローバルのモノづくりの効率化推進
3. グローバルシステムの強化



半導体検査用
テストソケット

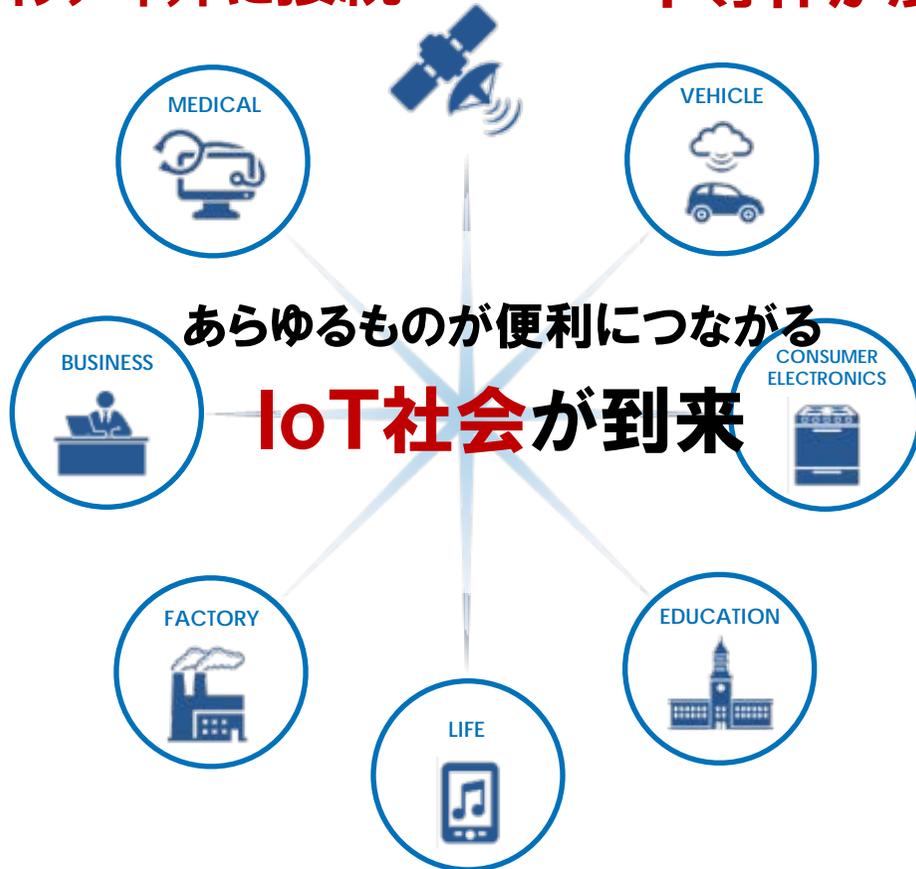


光トランシーバ用コネクタ

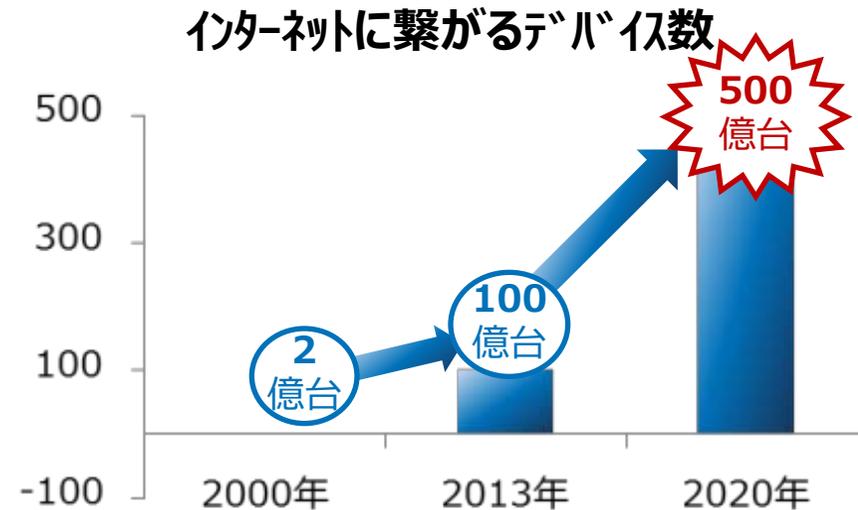
今後の事業環境

あらゆるものが
インターネットに接続

あらゆる分野に
半導体が浸透



- 半導体の需要拡大
- ネット情報の膨大な増加
- 電子機器の進化・拡大
- 新たなビジネスやサービス創出



出所：シスコホワイトペーパー予測

成長戦略

「伸びる地域・市場、元気な顧客、儲かる製品」と「ユニークな製品、差別化した製品の開発」をキーに
技術力の強化とグローバルニッチTOP製品の創出

TS事業

- ・お客様ニーズに応えられる新技術開発による販売拡大
- ・新市場、新規顧客開拓による販売拡大
- ・グローバル連携強化による顧客サービスの向上



個別温度制御用
バーンインソケット



大電流IC用
バーンインソケット



半導体検査用
テストソケット

CS事業

- ・グローバルニッチTOP製品の創出
- ・IoTを視野に入れて通信・車載・産機・医療の4市場向け製品の拡充



光トランシーバ用コネクタ



産業機器用
丸型コネクタ



車載用基板コネクタ



車載用同軸コネクタ

OPT事業

- ・顧客の開発段階からのソリューション提案力強化
- ・戦略的な新規開拓活動推進



通信用狭帯域バンドパスフィルタ

ご清聴ありがとうございました。

※注意事項

本資料は、2017年6月28日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

問合せ先: 経営管理部広報課 南部 幸久

TEL: 03-3734-7661 FAX: 03-3734-0120

<http://www.yamaichi.co.jp>

E-mail: nanbu@yamaichi.co.jp